

電子ジャーナル「Taylor & Francis Online」が 利用できるようになりました！

このたび、Taylor & Francis Groupの下記3種類の
パッケージを契約し、幅広い分野を対象とした主要学術
誌の電子ジャーナルが利用できるようになりました。

学認に対応しておりますので、**時間や場所を気にせず
アクセス**できます。研究や学修にぜひご活用ください！



Taylor & Francis
Online

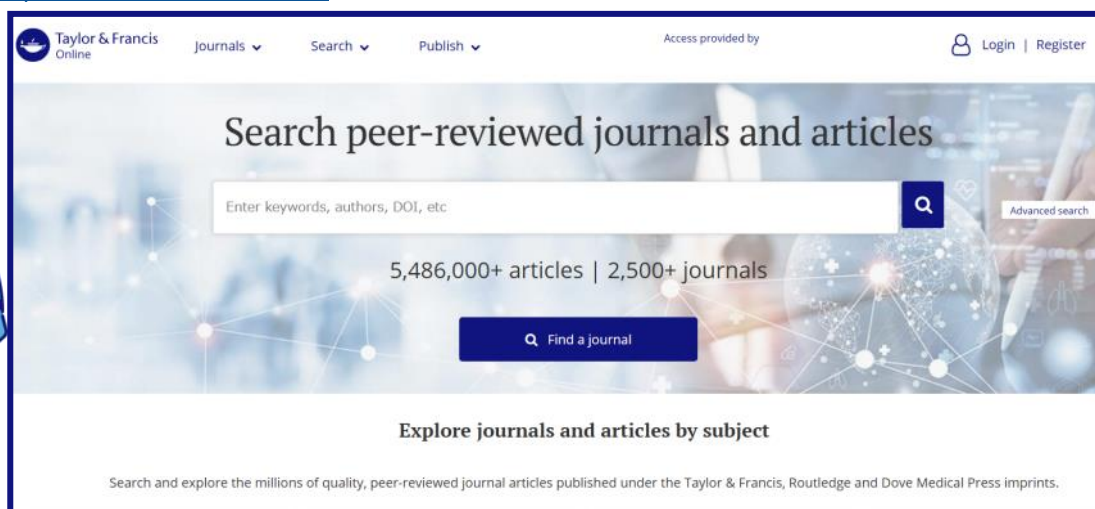


<https://www.tandfonline.com/>

Social Science & Humanities Library	Science & Technology Library	Medical Library
人類学、考古学、芸術、人文科学、行動科学、教育、地理学などの社会科学・人文社会学系分野の1,480誌以上の査読付き学術ジャーナルを収録。	コンピュータ・情報、地球、環境・農業、食品、数学、物理、統計、工学、生物学などの理工学分野の490誌以上の査読付き学術ジャーナルを収録。	一般医学・歯科学、産婦人科学、内分泌学、整形外科学、臨床毒物学、免疫学、眼科学、製薬科学などの医薬学分野の約170誌の査読付き学術ジャーナルを収録。

Taylor & Francis OnlineのURLに学内ネットワーク(学内LANやキャンパスWi-Fi)からアクセス
<https://www.tandfonline.com/>

利用
方法



学外ネットワークからのアクセス方法は次のページへ！

Contents

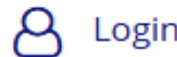
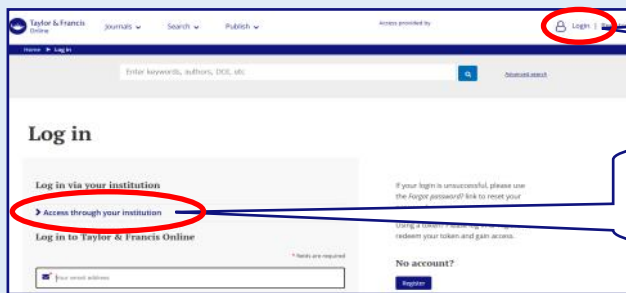
電子ジャーナル「Taylor & Francis Online」が利用できるようになりました！	1
「Taylor & Francis Online」学外ネットワークからの接続方法/オープンアクセス出版免除枠について	2
オンラインセミナーを実施しました/「カビ対策に関する研修会」実施報告/ 中央図書館書庫3階電動集密書架改修実施報告/図書館見学受入状況	3
緊急特別展示「クマ外傷」実施報告/「犯罪被害者のいのちのパネル展」・三浦文庫展示（令和7年度第2期）/ 教育文化学部附属特別支援学校の作品展示を行いました	4
令和7年度本のリユース市を開催しました / 中央図書館で職場体験を行いました	5
図書館からのお知らせ / 編集後記	6

「Taylor & Francis Online」 学外ネットワークからの接続方法(学認)

<https://www.tandfonline.com/>



1 Taylor & Francis OnlineのURLにアクセスして右上の”Login”をクリックし、”Access through your institution”をクリック



Login

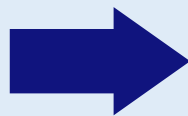
➤ Access through your institution



2 Select your institutionの画面で、”Akita University”と入力すると、下に機関名”Akita University”と表示されるので、クリックする。



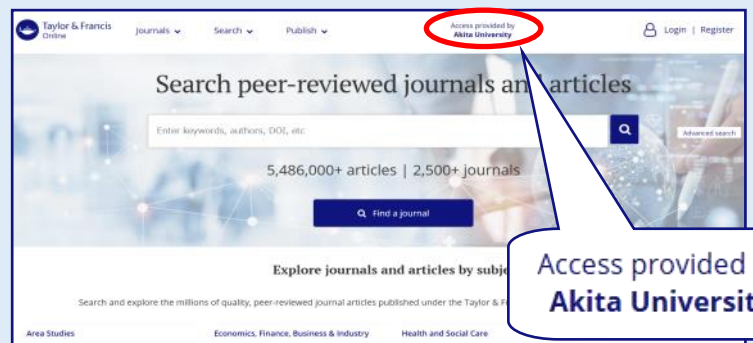
3 大学の認証画面が表示されるので、AUアカウント(学生はanetにログインする時のID、教職員はセンターID)の@より前の部分)を入力し、「→次へ」をクリックする。



パスワードも
AUアカウントと同じ



4 下記の画面が表示されるので、同意方法を選択して、「○同意する」をクリックする。
画面に”Akita University”と表示される。※スマートフォンでは表示されない場合があります。



オープンアクセス出版免除枠について

本学では、一部出版社との購読契約の際、論文掲載料を含んだ契約を結んでおり、著者負担無しでのオープンアクセス出版が可能です。免除枠には限りがあり、2025年中に使い切った出版社の免除枠が、2026年に入り回復しましたのでお知らせします。

各出版社の残数は図書館のホームページ(<https://www.lib.akita-u.ac.jp/top/ja/node/400>) (学内アクセス限定)をご覧ください。



オンラインセミナーを実施しました

附属図書館では、外部講師を招いて2つのオンラインセミナーを実施しました。

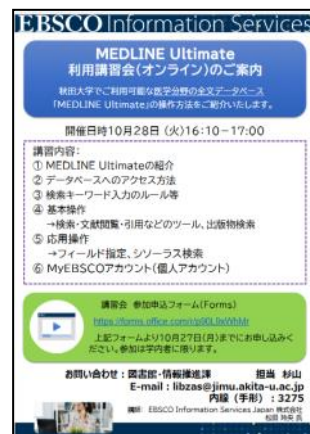
1. MEDLINE Ultimate利用講習会

「MEDLINE Ultimate」、医学分野のジャーナルを主な収録対象とするアグリゲータ系データベースで、米国国立医学図書館(NLM)製作の医学文献データベースMEDLINEの全ての情報に加え、MEDLINEに索引されているタイトルのうち約3,100誌の全文を提供しています。本学においては令和7年4月から提供を開始しています。



↑ MEDLINE Ultimate

10月28日(火)に、こちらのデータベースの提供元であるEBSCO Information Services Japan株式会社の松田玲央氏を招いてセミナーを行いました。データベースへのアクセス方法といった基本的なことから、効率化のためのツール、シソーラス検索といった踏み込んだ内容まで説明があり、参加者から質問も出るなど充実したセミナーとなりました。



2. 英語論文投稿に役立つScopus活用とOA出版セミナー

11月25日(火)にエルゼビア・ジャパン株式会社の井上淳也氏を招いて論文投稿に関するセミナーを実施しました。セミナーでは、論文受理のポイントや文献検索データベース「Scopus」の特徴や便利機能の説明、オープンアクセス出版支援制度の紹介などのほか、出版倫理に関する解説もあり、論文著者が負う責任の重さを感じ、身の引き締まる思いがしました。



↑ Scopus



「カビ対策に関する研修会」実施報告

令和7年12月5日、中央図書館において、「カビ対策に関する研修会」を実施しました。本研修は、秋田県大学図書館協議会の活動の一環として、秋田県内の大学図書館でのカビによる資料汚染と健康被害を防止するため企画したもので、加盟館の司書のほか、本学の技術職員にも参加いただきました。

資料の保存環境整備に関する専門家である吉川博幸氏による講演では、カビの発生原因や予防策、カビ処理の方法に関する知識が詳しく解説され、定期的な清掃や空調設備の見直し、換気の適切な運用がカビの発生を抑えるための重要なポイントであることが再確認されました。実技の部分では、カビの早期発見や処理方法について具体的な手順が実演を通して示されました。参加者は、実際にカビのチェック方法や消毒用エタノールの使用方法を学び、口頭での説明だけでは理解しにくい実務的な部分を直接体験することができました。特に、カビが発生している場所をいかにして特定し、処理を行うかについての実演は、現場での応用力を高めるために非常に有益な研修会でした。



中央図書館書庫3階電動集密書架改修報告

中央図書館では、書庫3階の電動集密書架4ブロックの改修を進めています。

令和7年3月の改修に続き、12月に2ブロック目の改修が完了しました。今後も、残る2ブロックを順次改修を行う予定です。



図書館見学 受入状況

(令和7年10月~12月)

附属図書館では、大学訪問等の一環で高校生等の図書館見学を受入しています。

実施日	学校名	来館人数 (引率除)
2025/10/14(火)	秋田県立増田高校	25名
2025/10/17(金)	秋田県立能代高校	40名

緊急特別展示「クマ外傷」実施報告

11月20日(木)から12月26日(金)までの期間、医学図書館1階にて「クマ外傷」をテーマとした緊急企画展示を開催しました。

本展示では、医学図書館所蔵資料に加え、J-STAGEなどで無料公開されている関連論文をQRコードからアクセスできるカードを設置し、来館者が最新の研究情報に触れられる工夫をしました。

展示初日には、隣接スペースで医学図書館本のリユース市も同時開催され、多くの学生が足を止め、展示内容に関心を寄せていました。

近年、クマによる外傷は地域医療において重要な課題となっており、今回の展示がその理解を深める一助となれば幸いです。

附属図書館では、正面入口の自動ドアにタッチスイッチを設置する等のクマ対策を実施しています。

また、秋田県のツキノワグマグマ出没警報や大学の対応に伴い、開館スケジュールが変更となる場合があります。最新の情報は図書館HPやanet、AU-CIS等をご確認いただき、ご来館や帰宅時など屋外を歩く際は、充分にご注意ください。



「犯罪被害者のいのちのパネル展」・三浦文庫展示(令和7年度第2期)

【展示期間】2026年1月7日(水)～2026年1月30日(金) 【展示場所】中央図書館2階エレベーター前

「犯罪被害者のいのちのパネル展」は、秋田県警察本部や警察署が主催する各種行事等をはじめ、県内各地で開催され、交通事故などにより大切なご家族を亡くされた方の協力を得て作成され、被害に遭われた方の写真とともに、ご遺族の思いが綴られています。

パネル展にあわせて、特設展示「三浦文庫」を実施いたします。

三浦文庫は、2001(平成13)年4月に交通事故で尊い生命を奪われた三浦 芳代子さん(当時教育文化学部3年/20歳)のご両親によりご寄贈いただいた心理学・犯罪被害者支援関連の図書・雑誌です。志半ばで亡くなった三浦さんを偲び、命の大切さを改めて見つめ直す機会とするため、三浦文庫の資料の一部を展示いたします。



中央図書館で職場体験を行いました

中央図書館では12月2日(火)～12月4日(木)、秋田大学附属中学校の生徒3名の職場体験を実施しました。

書架整理や返却資料の配架、サービスデスク業務といった利用者サービスや、受け入れ資料のカバーかけ・ラベル貼りなどの資料の装備作業など、様々な図書館業務を実際に体験しました。



↑12月に中央図書館1階エレベーター前で実施したミニ展示「美術と記憶」は、テーマ設定から選書、ポスター作成を含む一連の準備を生徒の皆さんが行いました！

令和 7 年度本のリユース市を開催しました

附属図書館では、除籍図書等を有効活用する取り組みとして、令和7年度も「本のリユース市」を開催しました。本学の教職員・学生に限らず、学外の方にもご来場いただき、多くの方に本との新たな出会いの機会を提供することができました。

中央図書館

中央図書館では、11月26日(水)・27日(木)の2日間、1階コモンズにおいて実施しました。会場では、来場者が自由に図書を手に取り、冊数制限なしで譲渡を受けられる形式としました。今年度は約2,400冊の図書を出品し、延べ239名のかたが来場、975冊の図書が新たな利用者の手に渡りました。多くの方にご利用いただき、資料の有効活用につながりました。



医学図書館

11月20日(木)に1階ホールにおいて実施しました。医学系の除籍図書や国家試験対策本、雑誌、寄贈資料など、約1,000冊を出品、76名が来場し、譲渡冊数は204冊となりました。



教育文化学部附属特別支援学校の作品展示を行いました

教育文化学部附属特別支援学校の児童生徒による作品展示を、中央図書館では2025年11月27日から12月4日まで、医学図書館では12月20日から24日まで開催しました。

展示では、中学部・高等部の生徒が作業学習の中で丁寧に作り上げた陶器や布製品、紙製品を紹介しました。さらに、学習の様子を伝えるパネルも設置し、来館者の皆さまに特別支援教育の取り組みを知っていただく機会となりました。

今回の展示を通じて、特別支援教育の魅力や生徒たちの成長を身近に感じていただけたのではないのでしょうか。作品を通じて、教育活動の多様な側面に触れていただけた貴重な時間となりました。



図書館からのお知らせ

卒業・退職を控えた皆様へ

◆図書・特別利用カード返却のお願い

対象となる貸与物	返却期限日
図書・雑誌(主に製本雑誌) ※	令和8年3月17日(火)
中央図書館発行のコピーカード	令和8年2月27日(金)
特別利用カード(教職員・院生)	令和8年2月27日(金)
特別利用カード(医学科6年生・保健学科4年生)	国家試験出発前

※ 教職員の皆様が研究費で購入した資料についても、退職時に図書館へ返却が必要です(附属図書館利用規程 第10条4項による)。他の教職員の方へ資料を引き継ぐ場合も、貸出データの修正等を行うため、返却が必要です。詳しくは附属図書館へご相談ください。

研究図書や雑誌をまとめて図書館に返却する際は、保管場所確保等のため、事前に図書館へご来館日時をお知らせください。

◆公費による学外文献取り寄せについて

3月到着分の学外文献を公費でお支払いの場合、予算振替は【次年度7月】を予定しています。今年度末退職予定の方の予算をご利用の場合、予算振替ができません。今年度末退職予定の方の依頼で、文献が3月に到着する場合は、支払い方法の変更(私費など)をお願いする場合がございます。予めご承知おきのうえ、ご協力をお願いいたします。

◆入館は【学生証有効期限の2週間前】まで！

学生の図書館利用者としての有効期限は、学生証有効期限の2週間前です(学生証の有効期限が3月31日の場合、3月17日が図書館の有効期限)。以降に附属図書館を利用する場合は、サービスデスクで期限延長の手続きを行ってください。

【図書館利用者カードをお持ちではない教職員のみなさまへ】

令和8年1月から、手形地区教職員の図書館利用者カード新規発行、再発行、登録内容変更のAU-CIS申請が可能になりました。学内便でのカードの受け取りも可能です。ぜひご利用ください。

▶URL: https://cis.akita-u.ac.jp/cgi-bin/cbgrn/grn.cgi/workflow/send_form?cid=59&fid=407
(要AU-CISログイン)

※これまで通り図書館サービスデスクで手続きを行うことも可能です。即時発行を希望する方や、AU-CISでの申請ができない方は、ご来館のうえサービスデスク職員にお声がけください。

※試験運用のため、令和8年1月現在、手形地区教職員の利用者登録を担当する中央図書館限定のサービスです。本道地区教職員のみなさまは、運用開始まで当面の間、医学図書館サービスデスクでのお手続きをお願いいたします。

編集後記

2026年が始まりました。2025年は、「今年の漢字」のとおり、秋田県も大学も、附属図書館も熊に翻弄された1年でした。利用者みなさまには、開館スケジュールの変更等で大変ご迷惑をおかけいたしました。野生動物の出没以外でも、雪国の秋田では冬場の外出が難しい場合もあります。附属図書館では、電子ジャーナルをはじめ、ご自宅からでも利用できるサービスの充実にもより一層尽力いたします。



No. 35 令和8年 1月 9日 発行

編集・発行 ■ 秋田大学附属図書館

〒010-8502 秋田市手形学園町1-1

中央図書館

医学図書館

TEL : 018-889-2279

TEL : 018-884-6052

FAX : 018-832-4917

FAX : 018-884-6252

MAIL: libriyo@jimu.akita-u.ac.jp MAIL: ibun@jimu.akita-u.ac.jp